

学習センターだより

松江東高校 令和8年度 第4号(7月発行)

夏休み中の開館スケジュール

平日8:30~17:00まで

★8月6日(木)は11:30まで(午後は教師塾で使用します)

★8月10日(月)~8月14日(金)は閉館

★開館日でも、急な開館時間の変更があるかもしれません。

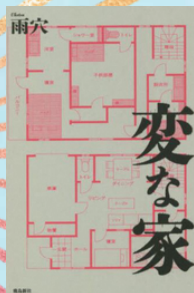
その場合は入口ドアに掲示しますので、ご了承ください。

図書委員のおすすめ本

『変な家』 雨穴／著 飛鳥新社

まるで動画を見るような読みやすさ。文字ばかりの小説ではなく、たくさんの「間取り図」と「会話文」で進んでいくので、YouTubeのミステリー動画を見ているような感覚でサクサク読めます。

「一見、普通の家。でも、間取り図をよく見ると窓のない部屋がある」そんな奇妙な違和感から始まる新感覚ミステリーです。結末はぜひ、本を開いて確かめてみてください！



『コンビニ人間』

村田沙耶香／著 文藝春秋

現代社会の「普通」を鋭く描いた芥川賞受賞作。

『人質の朗読会』 小川洋子／著 中央公論新社

この物語の主要人物8人は、ある国のバスツアーに参加していたところをゲリラ襲撃に遭い拉致され、人質にされてしまった不運な人々です。8人は悲しさを紛らわせるために、それぞれの大切な思い出話を1人ずつ朗読し合うことにするのですが、その朗読が8話分短編形式でこの本に収録されています。

どれも明るくて懐かしい雰囲気のある話ばかりなので、サクサク読み進めていくことができると思います。



『勇者のクズ』 ロケット商会／著 集英社

<あらし>魔王化手術の横行によって、お金持ちのヤクザが「魔王」と化し、彼らを殺す商売が「勇者」として合法化した現代社会。ピザとビール、カードゲームを愛する、チンピラ勇者のヤシロ。彼は3人の勇者志望の女子高生と共に、ろくでもない事件に巻き込まれる。

作品全体がハードボイルドでかつこわい、圧倒的な文章力で描かれる戦闘描写を楽しみたい、という方に自信を持っておすすめ出来ます。

本作はweb版がカクヨムで無料公開してる他、漫画化・アニメ化もしているのでぜひ一話だけでも読んでみてください。

読書感想文に挑戦してみよう

全校生徒クラスルームのお知らせから、提出者専用クラスルームに参加できますので、書いてみようかなという人は要項をよく読んで、読書感想文にチャレンジしてみてください。

※希望者のみ提出です。専用クラスルームに参加したからといって、必ず提出しなければならないわけではありません。

新着図書紹介(一部)



『ここはこどものいない国』

913. 6-タ26

武田綾乃／著 講談社

2226年、人間が工場生産される日本。愛玩赤ちゃん工場で働く美奈子は「母親から生まれた」秘密を抱えていました。ある日、職場の後輩から「妊娠している」と告げられたことで、彼女の人生は一変！命のあり方を問う物語。



『世界史は数学でできている とてつもなく壮大で面白い数学の物語』

410. 4-ヨ26

横山明日希／著 SBクリエイティブ

人類の歴史や社会の発展、時には戦争の裏側にも、常に「数学」が存在していました。本書は古代から現代までの歴史の転換点をたどりながら、数学のロマンと魅力を解き明かす一冊です。数学が好きな人はもちろん、苦手な人や「何の役に立つの?」と思っている人もぜひ。読めばいつもの世界が少し面白く見えてきます。



『図解でスッと頭に入る令和の物価高騰』

337. 8-カ26

洞川勝人／監修 昭文社

なぜ値上げは止まらないのか?本書は、物流の混乱やエネルギー危機、人手不足に円安など、複雑に絡み合う「令和の物価高」の正体を明快に解説する一冊。身近な家計の悩みからニュースの裏側にあるマクロ経済の動きまで、豊富な図解とともに視覚的に理解できます。活字が苦手な人でもストレスなく読めます。



『食べ物が変わった世界史 ビフォーとアフターが一目でわかる』

383. 8-イ26

伊藤敏／監修 かみゆ歴史編集部／編 朝日新聞出版／編著 朝日新聞出版

食料や飲料、調理技術などは、どのように世界史を変えてきたのか。豊富な資料と図解で解説。

『プラスチック・クライシス 日本発の新発見と技術革新が世界を救う』

578. 4-イ26 伊藤耕三／著 日経BP

「ナイロンは生分解しない」という化学界の常識を覆す世界的な新発見!本書は高分子化学の世界的権威・伊藤耕三氏が、国家プロジェクトの最前線から日本発イノベーションの全貌を明かします。教科書が書き換わるほどの興奮と最新科学の熱量が詰まっています。



『おいでよ!コアラ沼への招待状』

489. 3-ハ26

早川卓志／監修 世界文化社

コアラの「かわいい」の先に隠された、驚きの生態や進化の謎に迫ります。「なぜ毒のあるユーカリを食べるの?」といった疑問をひも解くこと、知らなかった奥深い世界が見えてきて、あなたもコアラ沼にハマるはず!



『科学的かつ現実的で、崇高かつロマンチックな火星移住計画』

445. 3-ス25

ロバート・ズブリン／著 奥田よう子／訳 講談社

「火星移住はもうSFではない!イーロン・マスクに影響を与えた宇宙工学の権威が、火星植民地化の具体的なビジョンを明かします。世界中で宇宙開発競争が激化する今、惑星旅行が現実になる未来を体感できます。